

YMG看護部

看護助手・介護職研修

レクリエーション研修

アンケート集計結果

☆ 研修日 : 平成 26年 10月 30日(木)

☆ 会 場 : 菊名記念病院 4F講義室

☆ 講 師 : 株式会社 余暇問題研究所
取締役・上級主任研究員 上野 幸 先生

☆ テ ー マ : レクリエーションへの正しい理解
～利用者の豊かな生活に向けて～

☆ 参加者 : 16名

(勤務場所別内訳)

病院	9 名
老健	7 名

(職種別内訳)

介護福祉士	9 名
看護補助者	7 名

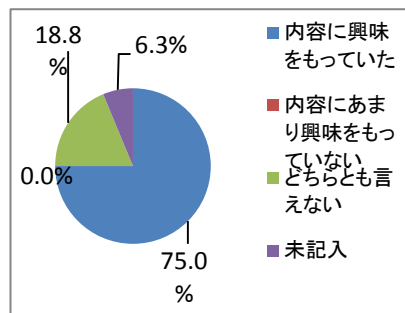
YMG看護部 レクリエーション研修 アンケート集計結果

集計日 : 平成26年10月31日

集計枚数 : 16 枚

1. 研修参加について

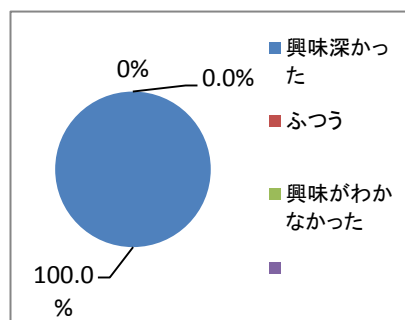
① 内容に興味をもっていた	12 名	75.0%
② 内容にあまり興味をもっていない	0 名	0.0%
③ どちらとも言えない	3 名	18.8%
④ 未記入	1 名	6.3%



2. 研修内容について

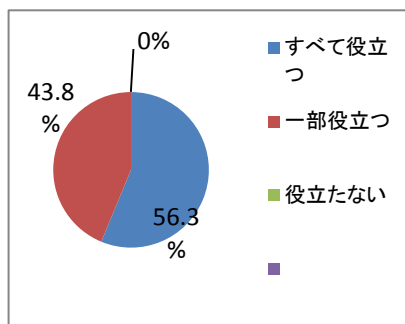
① 研修内容

・ 興味深かった	16 名	100.0%
・ ふつう	0 名	0.0%
・ 興味がわかなかった	0 名	0%



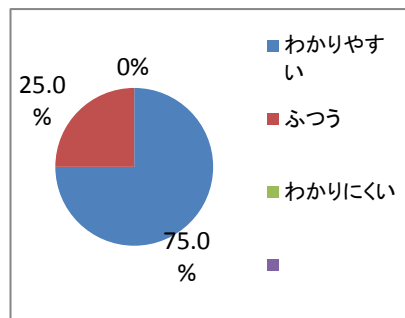
② 実践への応用

・ すべて役立つ	9 名	56.3%
・ 一部役立つ	7 名	43.8%
・ 役立たない	0 名	0%



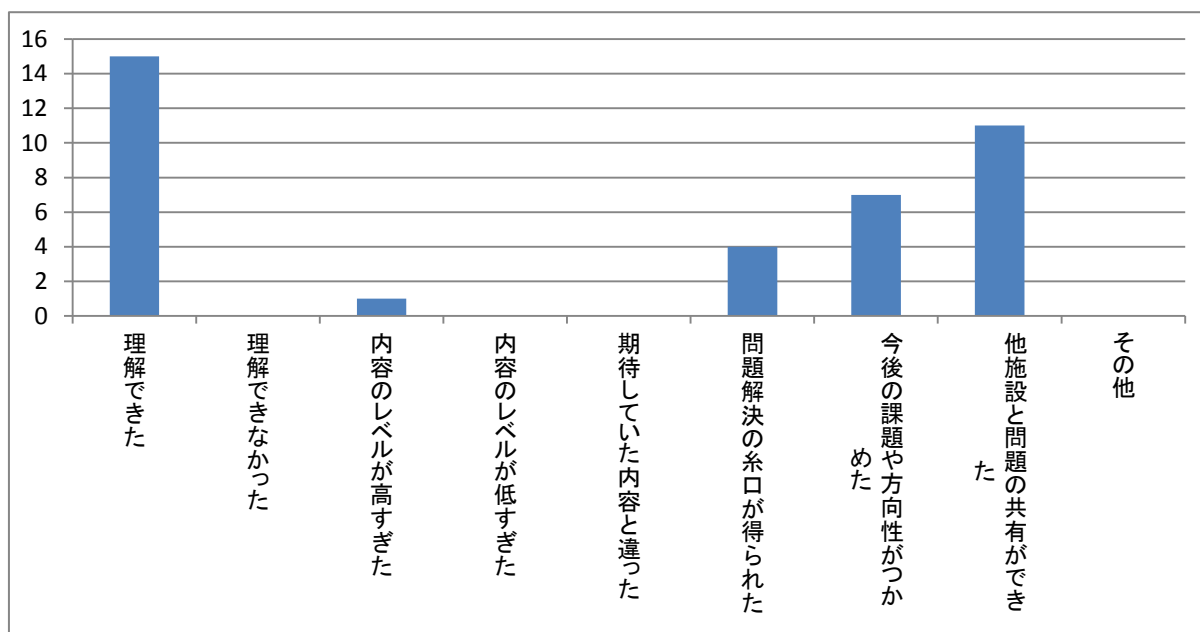
③ 教材・資料

・ わかりやすい	12 名	75.0%
・ ふつう	4 名	25.0%
・ わかりにくい	0 名	0%



3. 研修内容の理解度、全体を通しての感想(複数回答可)

①	理解できた	15名
②	理解できなかった	0名
③	内容のレベルが高すぎた	1名
④	内容のレベルが低すぎた	0名
⑤	期待していた内容と違った	0名
⑥	問題解決の糸口が得られた	4名
⑦	今後の課題や方向性がつかめた	7名
⑧	他施設と問題の共有ができた	11名
⑨	その他	名



4. 自施設でレクリエーションを行う上で問題となること

- ・ 職員の数人的なことでは出来ない事がある。利用者の状態。
- ・ 職員の人手不足。
- ・ 人員不足の為、コンスタントにレクリエーションが継続できない。
- ・ 職員不足。レクの途中でトイレのコールがなり集中できない。
- ・ 時間が無い。
- ・ 患者の状態レベルの違いがありすぎる。
- ・ 今日学んだ事をどう利用者に促していけるかを課題にして、継続して取り組みたい。
- ・ レクリエーションに人数を掛けられない時がある。
- ・ 業務が多すぎて、勤務時間後にレクリエーションをしている。レクリエーションをすると遊んでいるように思われる。
- ・ 参加人数が少なく、盛り上がらない時がある。
- ・ 多様な利用者様が毎日ご来所されています。全員の方がレクリエーションに参加するのは、なかなか難しいです。
- ・ スタッフの人数の問題で、時間が取れない事。患者の身体能力の違いで行う内容が変わってしまうこと。
- ・ 利用者の年齢に幅が広いこともあり、レクリエーションは個別性を重視し取り組んでいる。
- ・ 目の見えない利用者、麻痺のある利用者

4. 自施設でレクリエーションを行う上で問題となること（つづき）

- ・ 耳の遠い患者さんの対応でみんなで同じことをするのは、難しいと感じていました。集団の中で個別の対応になったとしても、他の患者が存在を認め、別のレクをしていたとしてもそれでも良いことがわかり、気持ちの持ちようが変わりました。上野先生、一日ありがとうございました。

5. 研修で気付いたことや、今後さらに知りたい・学びたいこと

- ・ 認知症の症状が重い方に対してのレクリエーションの使用方法
- ・ 誰でも出来る単純なレクを知りたい。
- ・ 今日のレクリエーション研修を受けて「自ら楽しむ」ことが一番大切だと思いました。
- ・ 声掛けの仕方について学びたいと思いました。
- ・ 手軽に出来る体操がいっぱいあると思った。活用していきたい。
- ・ レクリエーションについて考える機会となった。
- ・ 他の病院や施設の方と情報交換が出来たことが良かったです。なるべく多くのスタッフが参加できると良いと思います。
- ・ 高齢者だけではなく、自分自身の時間の使い方を考えて行きたいと思いました。
- ・ 一つのゲームでなく、少しの工夫をする事で簡単にゲームを楽しめる様に出来た。
- ・ 最後に聞いた自分自身が楽しく過ごすことが大切。
- ・ 時間を設けてレクリエーションを行うのではなく、日常の中にも見出す事。能力の違いを合せて、同じものの中で、出来る限り力を出して頂ける形を見つけること。
- ・ レクリエーションのリーダーを始めたばかりで、レクリエーションを行う本来の意味が学べ大変勉強になりました。また、このような機会があればレクリエーションのヒントを教えてくださいたいと思います。
- ・ 同じ事をやるにしてもいろいろなアレンジができ、その方にあつた事ができると思った。

6. その他、意見・感想

- ・ 他施設の現状や様子を情報交換できるのは、素晴らしい。
- ・ 研修について非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 仕事中にレクリエーションをすることは、無いのですが、勉強になりました。
- ・ 来て、良かった。
- ・ レクリエーションに対する考え方や奥深さを学ばせて頂きました。有り難うございました。